

も从ふ木立の灌木である。(草)は草原で荒地、開拓地等の草の繁茂する避けた地、(里)は亞高山で本県では1400ヘ1500米以上の山帶である。

7. 調査研究の示熟から、海鳥、雁鴨目、鶴目、鷺鷹目、については表のほか明らかに棲息すると考えられるものが多いが残念ながら記載出来なかつた。

博物館の珍らしい鳥類について

東谷薰

からふとしの

昭和30年10月30日農野町獵政調査課の三島冬嗣抜官が奉館され「しめ」の標岳について普通の「しの」とは少しちがうとの事で本府に持ち帰られ調査の結果「からふとしの」だということがわかりました。

昭和26年11月20日南添郡河野村河野で捕獲したものです。

「からふとしの」については、柳山徳太郎氏が鳥取県で獲れた雌の一標岳と丸海直石狩産の雄ニ標岳があるのみで我が國で3回目、ム羽目の貴重品である事がわかりました。

のがん

11月10日には丹生越廻村蒲生で「とび」3羽と椿廻して傷ついていた「のがん」を川崎治助氏が生け捕り博物館に寄贈して呉れました。「のがん」についてはこれまで1又、3回の報告がありますが終戦後は第2回目の捕獲となっています。18日に死んでしまったので剥製標本としました。

おおみづなぎどり

11月2日福井市酒伊精練の構内で京都府冠島に棲息し、天然記念物に指定されている、「おおみづなぎどり」を捕獲寄贈されました。

こおのとり

1ス月6日坂井郡鶴村波寄の分村一居氏が坂井郡浜田御村地籍で「こおのとり」を生け捕りにして寄贈してくれました。貢傷していたので傷の手当をし、雪とけと共に兵庫県へ帰そうと思つていましたが翌31年1月20日死亡しましたので剥製標本にもしました。

「こおのヒリ」は我が国では兵庫県出石郡の一部にのみ棲息し天然記念物に指定されているものです。